

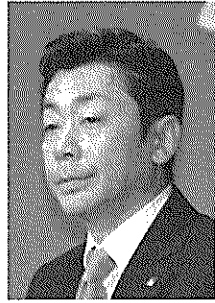
旭 P 連 だ よ り



旭P連だより

旭川市PTA連合会

地域づくりや人材育成としてのPTA活動



旭川市PTA連合会 会長 川村 寿 裕

昨年の千代ヶ岡中学校に続き、三月二十日に六十一年の長い歴史に幕を閉じた、雨崩中学校の閉校式典に出席をしました。「学校・地域・家庭の連携」「地域の活性化」が叫ばれる中で、閉校についての複雑な思いは、昨年度の紙面に述べさせて頂いたところですが、毎年続くこの閉校式典を「苦渋の選択」「少子化」を盾に、「残念だ」の一言で終わってしましう事に、PTA連合会としての非力を感じざるを得ない心境で雨崩中学校を後にしました。

旭川市PTA連合会会長の重責を仰せつからせて二年間、私は、「長屋づくり」「子どもたちとともに」を、キーワードに掲げ、機会ある度に訴え、お願いをして参りました。八名のブロック長兼常任理事には大変なご苦労をいただき、ようやく柱が立ち、長屋の体をなしてきました。これからは、雨風に負けない、何よりも暮らしやすいように、壁や屋根を創っていかねばなりません。それだけでなく、長屋が完成したら、地域をつくっていくかなければなりません。この「地域づくり」には、子どもたちとともに学び、育つた、皆さんの経験や、子どもたちを想う優しい心など、忘れかけている日本人の文化はもとより、より時代に合った的確な判断や先見の明が必要となってきます。

何故か私は矛盾を感じ得ません。夢と希望ある地域づくり、旭川市を築き上げていく立場として行政に直接携わり、私たち市民の代弁者である市議会の閉校にあつたの挨拶は、私には他人事のようにしか聞こえませんでした。

私たちは、保護者であり、地域住民であり、大人です。

今一度、PTA活動は、地域づくりや人材の育成も兼ねて行っている、必要不可欠であり、活躍を求められている活動であるという認識を持って下さい。

私たちの力が今まさに必要なのです。私たちが眼を背けていては、子どもたちも地域も育っていかないので、私たちが、その力があり責任があるのです。平成二十一年度より、旭P連OB会が正式に設立し、活動されます。PTAのみならず、地域住民として、大人として不連続の連続である子どもたちの育成と自分自身のためにも終の棲家づくり、子どもたちとともに夢を持って、益々活躍されます事をお願い申し上げます。

【事務局】
旭川市 6条5丁目 日章小学校3階
TEL 2312916番
FAX 2312917番
【発行責任者】 川村 寿 裕

旭川市PTA研究会

旭川市PTA連合会 研究部担当副会長 大谷地 裕明

第四十九回旭川市PTA研究会大会が十一月三十日旭川市クリスタルホール旭川市神楽市民交流センターを会場に約七百名の参加にて開催されました。研究テーマ「子どもたちとともに夢を特てる安心な未来を目指し、心豊かなPTAを築こう」のもと八部会に分かれ熱心な討議がなされました。



今年度は初めての試みとして会場を学校ではなく、クリスタルホールに移しての開催となりました。また各学校の実践報告として「子ども」「父親の役割」の三部会を行いました。

各部会ともにそれぞれより身近なテーマであり今後のPTA活動に向け内容のあるものになったと感じております。

木村まさ子様の全体講演では、「言葉のちから」「命のバトン」を受け継いで今の私がかかされている心に響くメッセージが伝わってきました。

本研究会が、今後の我々PTAの活動にひとつでも参考になれば幸いです。

最後に、本研究会の開催にあたりご臨席賜りましたご来賓の皆様、また各部会において貴重な講演をいただきました関係各位、そして大会運営にご尽力いただきました理事の方々および主管校の忠和小学校PTAの皆さまに厚く感謝申し上げます。

生活部「まわり道運動」と「子ども放課後教室」について

旭川市PTA連合会 生活部担当副会長 真下 仁志

本年度の生活部事業は、大きく分けて二つのことを重点に推進してまいりました。

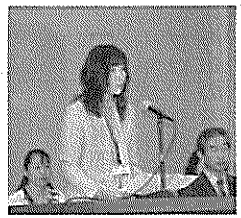
一つは、「まわり道運動」です。子どもたちが巻き込まれる事件・事故が年々増えてきています。また、犯罪も時間・場所を問わずに発生している現状があります。そこで、買い物帰り、会社への通勤、帰宅などで、日頃通っているルートを変えながら、行動して頂くことにより、犯罪の抑止力になると考え運動を展開することになりました。

今現在、この輪をPTAのみならず行政・関係団体・企業へと広げ運動を続けており、今後も生活部として継続していければと考えております。

二つ目は、「子ども放課後教室」です。小学校の余裕教室を活用して、地域の様々な方々の参画を進める事業です。旭川市は小学

母親研修会「自分探しの旅」

母親委員長 田中真紀子



新しい自分を探しに出かけませんか？
そう呼びかけた母親研修会。お陰様で二百七十名余りの方々が「研修会」という心の列車に乗車して下さいました。

様々な体験や講話を通して、自分の中の子カラに気付いて欲しい。「明日への切符は、自分の中にある」そんなメッセージを込めて企画致しました。当日、参加された皆様の素敵な笑顔と真剣な瞳に、また関わって下さった全ての方々に、母親委員を代表して感謝申し上げます。

一つの事業を行うには、多くの方の力が必要になります。でもそれこそがPTAの良さであり、意味ではないでしょうか。「一人で出来ないことを皆の力で」私たち母親委員も、この研修会を通して改めてその事に気付かされました。大きな事業を支えているのは、一人ひとりの小さなチカラ。その小さなチカラこそが心に響く研修会を築きます。

研修会後のアンケートにこんな言葉がありました。「明日からまた子どもと向き合う心のゆとりを頂きました」と。

今後も母親研修会が、皆様の心のドアを叩き続けることを願っています。



旭川・都城 児童生徒国内交流会について

事業部担当副会長 小山 英明

今年度の(第二十二回)旭川・都城児童生徒国内交流事業は、旭川市六名、都城市五名の参加があり、無事に終えることができました。

この事業に関わって頂きました皆様方のおかげと、厚くお礼申し上げます。

夏季交流は、平成二十年七月二十八日～七月三十日まで、旭川の児童が都城を訪問致しました。参加した子どもたちは連日三十度を超える暑さの中、鹿児島水族館見学、シーカヤック体験等々、北海道では体験できない夏を過ごしました。また、ちよろ桜島の小噴火にも遭遇し、桜島子どもたちを歓迎してくれているかのように感じました。帰旭した子どもたちの姿は少しくましくなりましたように感じました。

冬季交流は、平成二十一年一月三日～一月七日まで、都城の児童に旭川へ来て頂きました。来旭した子どもたちは、はじめて見る雪にテンションも上がり、雪とたわむれていました。その姿を見ると、改めて環境の違いを感じました。

今年度の冬季受入れでは、ファミリームーブメントを同時に開催しました。一月五日～六日泊二日で旭川市の子どもたちに参加の児童も加わり、総勢三十二名で愛別B&G海洋センターに宿泊しました。

一日目は木工クラブ体験やスタンプラリー、ドッチボール等々行い、二日目は旭山動物園を見学致しました。初めての試みでしたが、参加してくれた子どもたちから、「次回も参加したい」とのうれしい声を聞くことができました。

また、夏季・冬季ともに、旭川市PTA連合会のホームページ(事務局ブログ)に子どもたちの様子を載せました。保護者の皆様方からは、「子どもの元気そうな顔が見られて安心しました」と、たいへん好評でした。

今後に向けて日程や費用、参加者の募集のことなど、様々な課題がありますが、都城市PTA連絡協議会とも十分な連携をとりながら、この事業が益々発展していくことを願い、来年もまた、子どもたちのすてきな笑顔に会えることを楽しみにしております。

最後になりますが、本年度この事業に参加して頂いた児童生徒並びにそのご家族の皆様方、事業部部長はじめ部員の皆様方、お手伝いを頂きました役員の皆様方、そしてご支援頂きましたOBの皆様方に心より感謝申し上げます。



まわり道運動

子どもたちを守る

子どもたちのために
ちよとまわり道
しませんか！

地域で遊んでいる子どもたち、元気かな？
怪しい人ばかりかな？
危険なところはどこかな？

私たちが一人が「パトロール隊」
たくさん大人の目が光りますよ！

お仕事からの帰りに、お買い物帰りに
ちよと、まわり道

みんなで子どもたちの笑顔を守りたい
それが、旭川市PTA連合会の願いです。

旭川市PTA連合会 旭川市6条5丁目(日章小学校3F) TEL:2312916

旭川市PTA連合会における「ブロック活動」について

旭川市PTA連合会」の組織は、地域ごとに八つのブロックに分かれて活動がなされています。今回もそれぞれのブロックにおいてどのような活動がなされているか紹介させていただきます。

新永ブロック

ブロック長 山口龍泰(永山小PTA会長)

- 東五条小学校 ● 新富小学校
- 正和小学校 ● 永山小学校
- 永山南小学校 ● 永山西小学校
- 永山東小学校 ● 明星中学校
- 永山中学校 ● 永山南中学校

【新永ブロック役員研修交流会】

新永ブロックは十一月二十二日(土)、花月会館を会場に新永地区十校より百一名が参加し、教育講演会を開催いたしました。講師に旭川市保健所保健師江口早苗様を迎え、「若者を取り巻く性感染症・エイズの現状」と題し、ご講演をいただきました。

私たち大人も含め子どもたちにとってもなかなか正面切った話題にすることが難しいテーマを若い講師の方が、使命感をもってプレゼンテーションする姿に聴衆のみならず全てが引き込まれました。旭川市の若者の性感染症の現状は、実はかなり厳しい状況に置かれています。性的悩みについての相談の相手が友人かあるいは誰にも相談しない、できない状況が確実に性感染症を広がっていく環境をつくり出し、大人の、社会の責任の重大さを思い知らされました。不確かな性の知識、間違った知識や情報に子どもたちが振り回されることなく、改めて、私たち大人がしなければならぬことを再認識させていただきました。



性感染症は広がっている

話をすることの多い内容だったのでよかったです。性についても子どもが話しかけてきたとき、きちっと向き合っていました。話そうと思いましたが子どもと向き合ってみようという感想をもたれ、大変よい研修会となりました。

神楽ブロック

ブロック長 山田修二(西神楽中PTA会長)

- 神楽小学校 ● 神楽西小学校 ● 神楽南小学校
- 神楽北小学校 ● 西神楽小学校
- 西神楽小学校 ● 神楽小学校
- 十代ケ岡小学校 ● 神楽中学校
- 神楽中学校 ● 西神楽中学校

【神楽ブロック会議並びに懇親会】

神楽ブロックでは、六月二十六日(木)、各小中学校のPTA会長・副会長・事務局、校長の出席、総数七十二名の参加を得て、総会を行いました。年間活動計画の確認、各単位PTAの活動の交流等を行いました。続く親睦懇親会では、各単位PTAの役員同士が親しく自己紹介をしたり、単位PTAの具体的な活動を話したりと交流を図ることができました。

【神楽ブロック教育講演会】

十月二十日(月)には、西神楽中学校の体育館を会場に、長野オリピックのトレーナーもされていた旭川鍼灸会学術部長の神島賢氏をお招きして「子どもの健康と食生活」という演題でご講演をうかがいました。ブロックPTAからは九十七名の参加者がありました。



講演会の様子

東洋医学の見地から、学力を心配するより先に、子育てのきちんとした生活環境を整えることが大事で、食生活、特に子どもの朝食が成長に大きな影響を与えていることなどお話しされました。参加者からは、食生活を見直すよききっかけとなったなど、有意義であったという声がかれました。

西部ブロック

ブロック長 杉永伸一(近文小PTA会長)

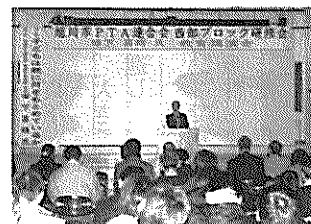
- 近文小学校 ● 向陽小学校 ● 大町小学校
- 北光小学校 ● 大有小学校 ● 近文小学校
- 近文小学校 ● 江丹別小学校
- 附属旭川小学校 ● 春光中学校
- 北星中学校 ● 北門中学校 ● 附属旭川中学校
- 旭川富学校 ● 旭川中学校

【西部ブロック会議並びに懇親会】

六月二十七日(金)ロワジールホテルにおいて西部ブロック十五校百名の参加者によるブロック会議と懇親会を実施しました。会議では年間行事予定の確認などをしました。懇親会では、各校の活動の状況を紹介し合いながら親交を深めました。

【西部ブロック研修会】

十月二十九日(水)午後六時三十分から医療法人歓生会 豊岡中央病院 会長 田下昌明先生を講師に迎えて、平成二十年度旭川市PTA連合会西部ブロック研修会を近文小学校の体育館で開催しました。多くの保護者の皆様、教職員総勢約百四十名に参加していただき、大変有意義なひとときとなりました。



研修会の様子

講演では次のようなお話がありました。「人に迷惑をかける人」というのはだめ。自分で迷惑をかけていないと思うと、なんでもすることにつながる。迷惑は、された人がきめること。「自分がされていやなことは人にしてはいけない。」という指導をするのがよい。親は子どもに「先生の言うことを聞きなさい。」先生は「親の言うことを聞きなさい。」とすることが子育てにはとても大事である。など大変勉強になるお話をされました。

北部ブロック

ブロック長 吉田良作(宮北小PTA会長)

- 近文第一小学校 ● 近文第二小学校
- 北星小学校 ● 春光小学校 ● 未広小学校
- 未広北小学校 ● 豊島小学校
- 東通中学校 ● 広福中学校
- 六合中学校 ● 宮北中学校

【北部地区連絡協議会・懇親会】

北部ブロックでは、六月二十七日(金)に市内花月会館において「ブロックの総会・懇親会」を行いました。ブロックの年間の活動の概要と各単位PTAの活動の様子を交流しました。続いた行われた懇親会では、各単位PTAのユニークな自己紹介もあり、互い打ち解け楽しい雰囲気の中で、今後のブロック活動への協力を確認しました。

【講演会】



講演会の様子

七月二十五日(金)には、上川管内教育調査研究事業実行委員会が行った増田明美氏の講演会「自分という人生の長距離ランナー」に参加しました。増田氏は、自らのオリンピック選手としての経験、また国際マラソン競技会への参加の経験などをまじえながら、生きることに決してお話しされました。人生の目標は、決してゴールではなく、そのゴールが次のスタートになるということ、マラソンと同じだと思う。「誰もが自分という人生の長距離ランナーです。」など、実践に裏打ちされた貴重なお話を聴くことができました。

南部ブロック

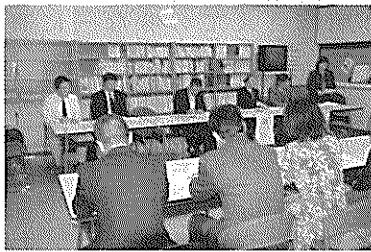
ブロック長 古小高経浩(東神楽中PTA会長)

- 神楽小学校 ● 千代田小学校 ● 共栄小学校
- 旭川第三小学校 ● 旭川第二小学校
- 旭川第二小学校 ● 旭川第一小学校
- 東神楽中学校 ● 東明中学校
- 東光中学校 ● 旭川第二中学校

【南部・東部ブロック研修会】

南部ブロックは新しい試みとして、東部ブロックと合同教育懇談会を開催いたしました。各単位PTA間で交流・情報交換を目的とし、慣習化しているPTA活動の活性化に繋がればと企画いたしました。

平成二十年十月二十五日十七時より、トリーホテル・上川教育研修センターにおいて行われました。約百名の参加者を六分科に分け、「今の子どもたちは」学校の児童生徒の現状」と題し討議に入りました。一時間と短い時間の中ではありましたが、熱い意見交換がされ討議内容はその後の懇親会で発表されました。どの内容も現状の問題に即した意見であり、今後の課題でもあります。今回の意見を各単位PTAに持ち帰り、今後のPTA活動に活かしていただければと思います。



研修会の様子

今回、合同教育懇談会開催にご協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございます。協力のいただきありがとうございました。

東部ブロック

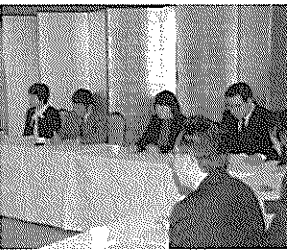
ブロック長 田村由枝(旭川中PTA会長)

- 金沢小学校 ● 愛宕小学校
- 旭川小学校 ● 旭川第一小学校
- 旭川第五小学校 ● 旭川中学校
- 愛宕中学校 ● 旭川中学校

【東部・南部ブロック研修会】

平成二十年年度の東部ブロックでは、ブロック会議を三回開催致しました。今年の三月に開かれた最後のブロック会議では、会員から、旭川市PTA連合会に対して、質問や、意見が活発に交わされておりました。川村旭P連会長が同ブロック所属の会員ですので、

会議にも参加されていて、一つ一つ丁寧に答えて下さいました。一年を通してブロック会議の大切さを実感しているところです。また、今年度は、初の試みで南部ブロックと合同で教育懇談会及び懇親会を開催致しました。東部ブロックは懇親会を担当させて頂きました。南部・東部がブロックの垣根を越えて、懇談会では意見交換情報交換を、懇親会では、親睦を図っていただけただけではないかと思えます。



研修会の様子

単位PTAそれぞれが、旭P連の活動を理解し、多くのPTA会員が興味をもって注目される旭川市PTA連合会にするべく、努力を私たちが一人ひとりが心がけていかなければならぬと強く感じました。

中央ブロック

ブロック長 蜂谷規彦(富田中PTA会長)

- 豊島小学校 ● 新町小学校 ● 日置小学校
- 福新小学校 ● 朝日小学校
- 東町小学校 ● 豊田小学校
- 豊田中学校 ● 豊島中学校
- 北野中学校 ● 光南中学校

【中央ブロック研修会・懇親会】

中央ブロックは、十一月十五日(土)にブロック研修会・懇親会を「トリーホテル」において開催しました。今年度中央ブロックでは初めて懇親会を行いました。旭P連川村会長にもご出席を頂き、中央地区十一校、七十七名の参加を得ました。

研修会では「チェロとピアノによる音楽の夕べ」と題し、市内の音楽家である山口健氏、新町由美氏による「トッカータ」「白鳥」などの演奏で参加者全員が魅了され、日頃の忙しさを忘れて感動的な時間を過ごすことができました。



研修会の様子

この研修会の後、懇親会を実施し各PTAや旭P連の活動状況などを紹介し合い、ブロック相互の親睦と交流を深めることが出来ました。中央ブロックでは例年主催校による研修会を実施してきましたが、どうしても各校が一同に集まるとい状況ではありませんでした。今年度よりブロック会議を実施し懇親会を行うことよって、より一層各校との連携を図れるものと思えます。

神居ブロック

ブロック長 飯森 徹(神居小PTA会長)

- 志和小学校 ● 台場小学校 ● 神居小学校
- 高沢小学校 ● 神居東小学校
- 南神居小学校 ● 神居中学校
- 神居中学校 ● 神居東中学校

【神居ブロック親睦大会】

神居ブロックは九月十二日(金)に、ブロック会員の親睦を深めるため、親睦大会を開催いたしました。この親睦大会は、大きく二つの部に分けて実施いたしました。

第一部として、旭川スカイラインでボウリング大会を行いました。ブロック各単位PTA対抗とそれぞれが二ゲームずつ行い、成績を競い合いました。参加者数は、合計五十八名になりました。昔ならした人や初めての人も、一投一投に大きな歓声があがっていました。また、団体賞や個人賞などを設け、それぞれが楽しく汗を流しました。

第二部は、ボウリング大会が終わった後、参加者全員で焼肉パーティーを行いました。交流を図りました。その場では、ボウリング大会の各賞の授与を行い、それぞれ大きな拍手の中で受賞者が賞品を受け取っていました。その後、各単位PTAの役員紹介や活動内容の交流が行われ、互いの親睦を深めることができました。

編集後記

昨年の十二月に開かれた総務部の最後「P連だより」誰が担当する」と部長の一言。何となく他部員の視線が私の方へ、「一年間だいたいの生活リズムが私の方へ、えがやれ」と言わんばかりの視線。副会長が笑顔で「やっ」との一言。時間も遅くなってきたが、早く帰らなければならぬかと断り切れず「わかりました私がやります」と大見得を切ってしまった私。出来映えは例年と大した変わりはないが、少々満足している。ただ、編集の段階で構成、印刷を依頼した「旭川福祉園」さんには大変迷惑をかけ、また、ご協力いただきました。ありがとうございます。今年度の「P連だより」で一番気に入ったところは、一面の上段、川村会長の写真。昨年の写真よりずっとかっこよく写っていると思うのは、私だけか。他にもかっこよく、たくさんの方々のご協力を得た「P連だより」総務部の威信をかけた(大げさ)。楽しんでいただけましたでしょうか。【完】

